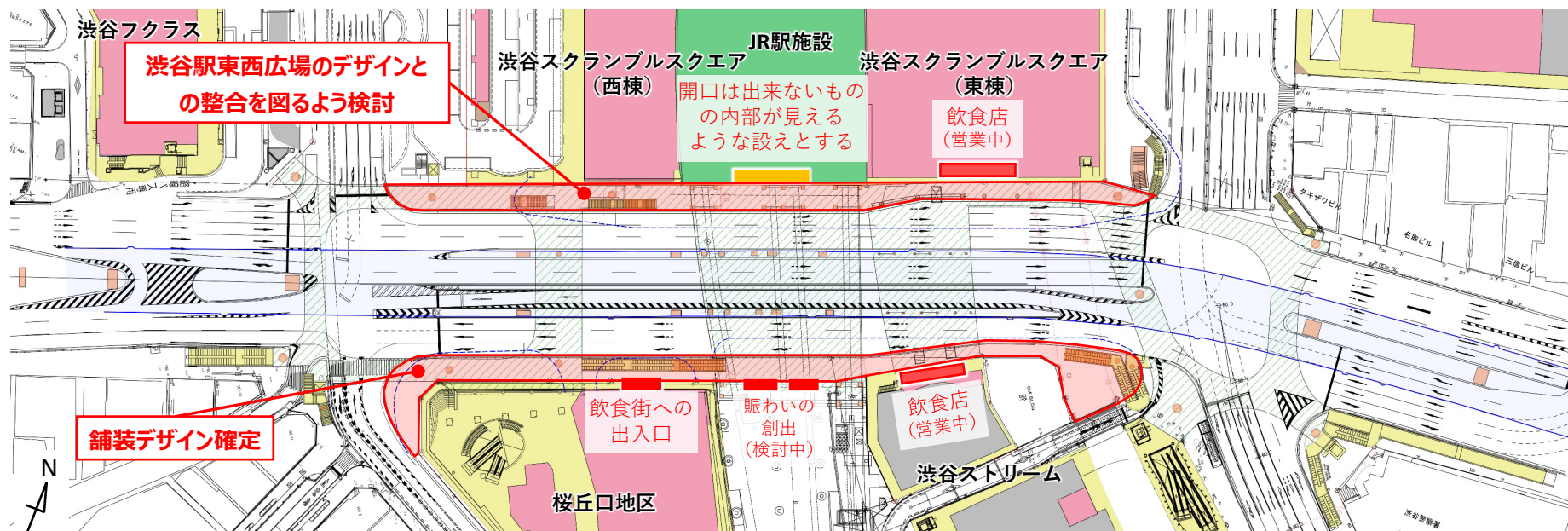


国道246号沿道環境について ②これまでの確認事項と検討状況

検討事項	状況
舗装について	・舗装は北側・南側それぞれの区間でデザインの整合を図り、国道の舗装に関しても擬石透水平板ブロックを基本に検討する。 ・北側の舗装に関しては、渋谷駅東西駅前広場のデザインの深度化を踏まえ、引き続き検討を行う。 ・南側の舗装に関しては、関係者（渋谷サクラステージ、JR、渋谷ストリーム）連携のうえ、デザインを確定（2023年4月）。施工については、国道246号の最終形工事の際に修景舗装も行う。
歩道照明	・道路機能として必要最低限の照明は国道でも検討。 ・上部構造物や民地側等の照明の検討状況を踏まえ、民地側から歩道側を照らし、基準値以上の照度を確保する方向で検討。 ・北側は民地側から歩道を明るくするような照明を検討。 ・南側は、サクラステージの壁面照明はあるものの検討中。
上部構造物等の照明演出	・橋脚等（首都高を除くJRや国道デッキ、占用デッキ等）が林立しているため、デザインやライティングなどについても検討。 ・JRの桁裏などの化粧も検討。
にぎわいの創出	・北側は、建物の深度化に伴い、裏にならないよう修景の検討を行う。 ・南側は、渋谷サクラステージと渋谷ストリームの外観が決定。JR桁下空間の演出を検討中。 ・イベントや夜間の歩道の利用など、エリマネ活用など、ソフト面でも積極的に検討する。



■サクラステージ開業に伴う国道246号南側沿道の状況確認 ー検討経緯・デザインの方向性 振り返りー

検討時のイメージ

出典：230306都市基盤施設デザイン調整WG資料

経緯

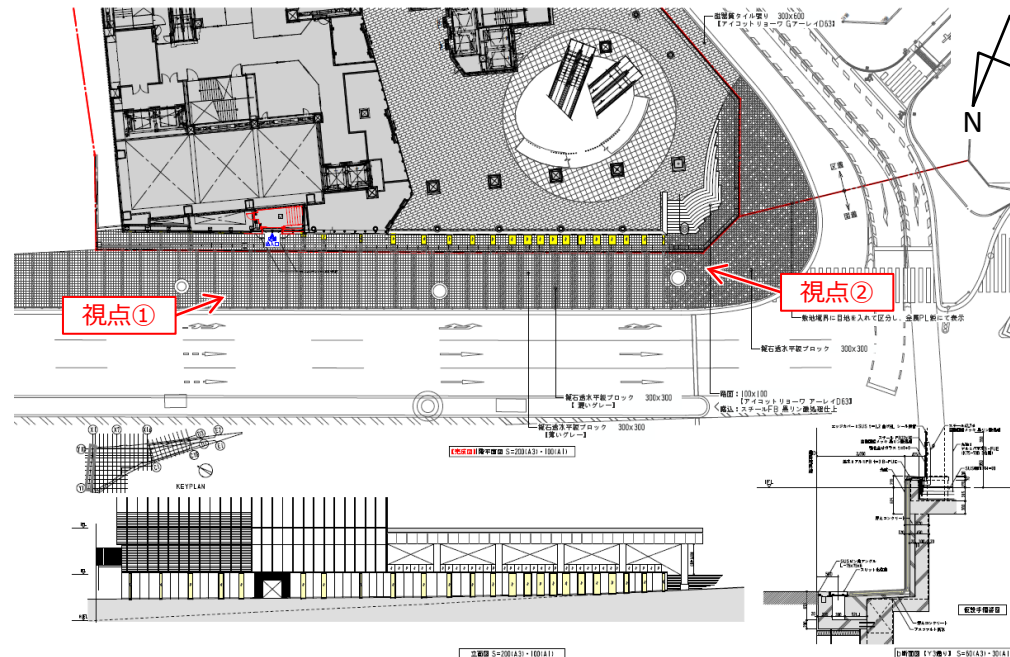
- 補助第18号線及び桜丘敷地内の舗装については過去上程済み
- 現在協議中である国道246号の歩道舗装については、沿道環境一体でとらえて各街区につなげていく必要があると各事業者で共通認識

課題

- 国道246号歩道舗装と補助第18号線歩道舗装は一体感を損なわないように切替
- 施工可能な素材（大きさ・形状含む）の検討

デザインの方向性

- 国道246号歩道舗装は渋谷川付近～ストリーム前の舗装からの流れを汲むデザインとし、規則的なボーダーが変化しながら桜丘側とストリーム側をつなぐ。色調は両街区の個性を自然に受け止めるニュートラルなグレーを基調とする
- 桜丘側の特徴的なコーナー部分は勾配による高低差が目立たないよう濃いグレーを基調とし、アクセントとして桜御影調のピースを散らす



JR高架側より



交差点側より

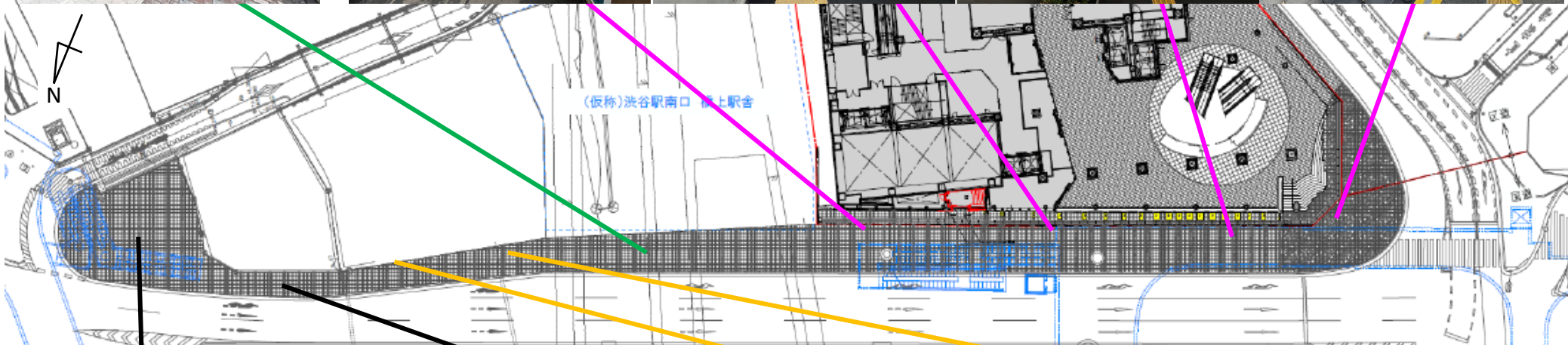
国道246号沿道環境について ②これまでの確認事項と検討状況

■サクラステージ開業に伴う国道246号南側沿道の状況確認 ー計画⇔現在（ストリーム・サクラステージ竣工）の比較ー

JR高架下沿道



サクラステージ側沿道



オミビル前



ストリーム沿道



▲舗装に使用している
擬石透水平板ブロック

